

一般質問通告一覧

1	阿部 治正	1 風水害対策について 2 熱中症対策について
2	岡 明彦	1 マイナンバーカードのさらなる活用と利便性向上について 2 「朝の小1の壁」について 3 熱中症対策の強化について 4 高齢者のヒアリングフレイル対策について
3	近藤 みほ	1 職員が安心して働くためのハラスメント対策について 2 流山市における職員のより良い人材育成に向けて 3 児童センターの子育て支援拠点のさらなる活用に向けて
4	森田 洋一	1 利用者目線に立ち思いやりの心を持った必要な情報の提供について 2 行政サービス提供体制の課題に立った今後の観光案内所のあり方について 3 外国人観光客誘致について
5	戸辺 滋	1 医療的ケア児等の家族の負担軽減策について 2 違法賭博やギャンブル依存症への対応について 3 指定避難所等におけるこどもの居場所づくりについて 4 東武野田線運河駅東口の安全対策について
6	川本 大岳	1 南流山駅周辺のまちづくりについて 2 文化芸術について
7	青野 直	1 江戸川の観光を軸とする地域活性化について 2 独居高齢者にやさしい施策について 3 流山本町における地域公共交通の充実について
8	小沢 えみり	1 動物飼育活動を通じた情操教育の充実について 2 ふるさと納税について 3 妊娠期から子育て期にかけての相談体制のオンライン化について
9	藤井 俊行	1 カスタマーハラスメント防止対策について 2 働き方改革について 3 宅配ボックス購入支援事業補助金について
10	矢口 輝美	1 学校施設の工事における子どもへの説明と参加について 2 江戸川台駅東口周辺地区再整備事業について 3 こどものデータ連携について 4 共同親権制度の施行を見据えた教育委員会の役割と学校現場の対応について
11	乾 えり	1 介護保険について 2 教育行政について 3 南部地域のまちづくりについて
12	高橋 あきら	1 医療・保健行政の充実について 2 教育行政について 3 熱中症対策について
13	植田 和子	1 物価高騰対策について 2 公共施設の維持管理について 3 教育行政について
14	うた 桜子	1 不登校児童の増加に伴う、学校のあり方と居場所の拡充について 2 特別支援学級について 3 教育のICT化に伴う効果と課題について 4 学校教育における日本人としての教養について
15	おだぎり たかし	1 中部地域のまちづくりについて 2 住宅政策について 3 徴税業務について 4 千葉県立特別支援学校の市内新設について
16	桑畑 伴子	1 女性の健康支援について 2 HPVワクチン接種について
17	清水 大	1 こどもの読書活動の推進に関する取り組みについて 2 不登校の現状とサポートについて 3 学校給食無償化に関する考え方について
18	楠山 栄子	1 本市の在宅医療・介護体制の充実について 2 本市のDX化における聴こえ対策としての音声認識ツール等の活用について
19	渡辺 仁二	1 ほっとプラザ下花輪について 2 自治会運営の活性化と担い手確保に向けたICT活用支援について 3 流山市における地域交通の未来像と自動運転バスの導入可能性について
20	坂巻 儀一	1 教育福祉委員会主催イベントについて 2 利根運河エコパーク関連事業について 3 運河駅周辺東深井地域の建設ラッシュへの対応について



「朝の小1の壁」について

公明党 岡 明彦

問 「朝の小1の壁」は、小学校への就学に伴い、保育所に比べてこどもを預けられる時間が短くなることで生じる問題である。このことについて、市の認識はどうか。また、今後どのように実態を把握し、課題の解決に向けてどのような対策を図るか。

答 教育長 共働き世帯を中心に、朝にこどもだけで自宅に残ることについては、不安の声があることは理解しています。また、朝早い時間に昇降口の前で解錠を待っている



職員が安心して働けるハラスメント対策を

流政会 近藤 みほ

問 地方自治体で職員の退職が増えていることに強い危機感を抱いている。①本市でも職員に対してハラスメント実態調査を行うべきではないか。②カスタマーハラスメント防止、特に業務妨害への対応強化を実施すべきではないか。

答 総務部長 ①アンケート実施には、職員間の信頼関係に配慮した慎重な検討が必要ですが、働きやすい職場環境づくりには、ハラスメントの有無や職員の意識などの実態把握が必要です。今後、調査項目、調査対象者、実施方法などを十分検討し、令和7年度中に職員アンケート実施を考慮しています。②本市の不当要求行為等対応マニュアルでは、できる限り短時間で対応を心掛けることとしています。行政への相談は、単に時間や回数でなく、ケースバイケースで対応すべきと考えます。労働施策総合推進法の一部改正により、国が必要な指針を定めるとされており、その内容を踏まえて本市のマニュアルを再点検してまいります。



外国人観光ガイド経験で気付いたこと

森田 洋一

問 フランスの3世代ファミリーのガイドを経て、参加者にファミリー内の要望を一本化してもらうことが大切と感じた。同様に、サービスを提供する組織では、トップ主導でビジョンと方針を徹底し、考えを一本化すべきではないか。

答 市長 部門間の調整については、私は副市長などの特別職と各部署長で構成する庁議の中で、市政経営の基本方針および重要施策についての方針決定を行っています。庁議に至るまでは、副市長を中心とする政策調整会議や、必要に応じて関係部課長などの協議により、部局間の連携を図っています。また、企画、総務および財政などの内部管理部門もそれぞれの所管に基づき、部局間のさまざまな調整を行っています。さらに、担当者レベルや部局間をまたぐ横断的な事業については、関係各課で構成する部会やプロジェクトチームによる検討会議などを開催しているところ



医療的ケア児などのご家族への支援について

公明党 戸辺 滋

問 近年、医療的ケア児などを介護する家族の一時的な休息時間を確保する、レスパイトケアに関する支援を講じる自治体があるが、支援の強化は家族の心身の健康維持のため重要と考える。本市でも早急に実施すべきと考えられるかどうか。

答 健康福祉部長 医療的ケア児などを介護する家族は、医療機器の管理や痰の吸引など、目を離せない場合も多く、心理的・身体的負担は非常に高いと認識しています。レスパイトが目的の事業



南流山駅周辺のまちづくりについて

流政会 川本 大岳

問 ①令和7年度から令和9年度までの3年間はどのような事業を想定しているのか。②再整備される場所と広さはどうか。

答 市長 ①地権者や開発事業者への意向調査や市民説明会などを通じて意見を伺いながら、令和6年2月27日に策定した南流山駅周辺地区まちなみづくり指針に基づき、段階的に取り組みを進め

ているところです。まちづくり推進部長 ②再整備の対象範囲については、現在の北口および南口のロータリーを中心としたエリアを予定しています。面積については、北口が約5500平方メートル、南口が約5100平方メートル、合わせて約1万6000平方メートルを予定しています。駅ビル建設については、市として、公共施設用地に駅ビルを建てる予定はありません。

